

.....

1. 佐賀県地域共生ステーション資質アップ研修講演会 津金澤寛氏講演会 100名参加

2. 地域共生ステーションアンケート集計・報告書

3. 10月18日、西部ブロック（鹿島）地域共生交流イベント決定

4. 世話人会報告

5. ブロック活動・予定・事務連絡

.....

1. 佐賀県地域共生ステーション資質アップ研修会 (第2弾)

平成28年8月20日（土）、メートプラザホールで、佐賀県地域共生ステーション資質アップ研修会講演会が開催されました。約100名の方が参加されました。

（株）オールプロジェクト代表の津金澤寛氏からの、「新しい福祉ビジョンその準備」と題した講演は、今後の介護保険の改正について、危機意識をもって準備することの重要性を説かれ、アンケートの結果からも、会場の皆さんに響いた内容のものでした。下記、アンケートの一部です。

- ・今後の介護の状況が少しわかりました。北欧も定期巡回をしていると聞いたことがあります。サービスの付加価値が大切
- ・日本の介護の置かれている状況、世界との差など色々な点から教えていただき大変勉強になりました。
- ・小規模な事業所を一カ所のみ運営しております。今日の講演をお聴きして今後の運営に不安を感じました。また、早くから将来の方向を見定めながら、運営へ方法についての取り組みを始めなければと強く思います。当市ではまだ地域ケアがはっきり示されていないことも不安の一つです。
- ・総合事業に対する不安がありましたが、介護保険に頼らない自己事業の開発を前向きに考えていこうという気持ちになりました。
- ・今後の事業のヒントが得られ、非常に良かったと思います。定期巡回訪問介護をキー事業と位置付けし事業を展開していけたらと思います。実際に事業展開をされている講師の方からのお話を聞いて、大変意義のもてる研修を企画して頂き、ありがとうございました。
- ・今後の参考にさせていただきます。
- ・津金澤先生の講演、非常に刺激を受けました。今後の事業展開に活かしていきたいと思います。
- ・本日の津金澤様のお話の中で、来年度の改正はすごく重要で、自分も事業展開を今まで以上に複合サービス等を行って、今後の介護の時代に少しでも貢献できるように考えていきます。
- ・今回の研修は大変参考になりました。今後の介護保険制度の動向やサービスの展開など具体的な説明をしていただきありがとうございました。介護現場は益々厳しくなると思われませんが、研修内容を参考にしていきたいと思っています。
- ・詰まりいく介護事業に光を投じて頂き、ありがとうございました。
- ・人材、資金不足の折、新しい事業をどのように展開していけば良いのか。益々不安と、見いだせない現状に改

めて考えさせられました。

・定期巡回随時対応型訪問介護看護は魅力的です。地域は屋根のない特養という言葉も印象に残った。介護の問題は厚労省ではなく財務省の問題という話は目からウロコでした。

※講師の津金澤様、会場にお越しいただいた皆様、真にありがとうございました。

2. 平成27年度地域共生ステーションアンケート集計・報告書集計完了

佐賀県地域共生ステーションの取り組みに関するアンケート調査票（114団体分）の集計がほぼ終わりました。現在、佐賀県に提出中ですが公開するかどうかは未定ですが、進捗がありましたらご報告します。

3. 10月18日、西部地区にて地域共生交流イベント開催されます

西部ブロックでは、10月18日（火曜日）に「地域共生交流イベント」を予定しています。

開催場所は、鹿島市高津原のコミュニティセンター「かんらん」です。担当は、西部ブロック世話人余暇センターきたじまの北島富子さんです。

内容は、①研修会「学ぼう！！総合事業の動向」杵藤地区広域市町村組合介護保険事務所

②介護予防運動 お手玉の達人 中島さん

③催し（複数）

④昼食（カレーライス）

となっています。チラシができましたらまたご案内します。

4. 世話人会報告（8／23）

8月23日に世話人会が開催されています。（14名出席）最初に、介護労働安定センターの方から、雇用環境の整備について、社会保険労務士を事業所に派遣するなどして、事業所の雇用管理における相談事業を紹介されました。無料になっていますので活用されてみてはいかがでしょうか？【別添チラシ】

協議事項は下記のとおり

①平成27年度佐賀県地域共生ステーションにおける生活支援サービス等に関する調査・研究報告書の考察

②たすけあい基金推進研修会 10月25日決定（世話人会兼）

③地域共生交流イベントの協力

④地域介護総合確保基金 介護人材確保事業の提案（長寿社会課あて）

以上を協議しています。

※介護人材確保事業については提案済です。進捗がありましたらご報告します。

5. ブロック情報・予定・事務連絡・その他

中部ブロック (佐賀市・小城市・多久市・江北町・大町町)

■ イベント情報

9/3 メートプラザ佐賀 「佐賀の在宅ケア・医療 他職種で支えます」

※別添チラシ

9/11 佐賀市スポーツ会館 3階大会議室

「世界アルツハイマーデー講演会～若年性認知症 初期支援の現状」 参加費 無料

申込みは、認知しようの人と家族の会 佐賀県支部まで0952-29-1933

共催： 佐賀県長寿社会課地域包括ケア推進室

■おあしす地域共生ホームあいあい共催で「中部地区地域交流イベント」予定 3月予定

■ふくしの家内部研修に、ひがたの里の伊藤もと子氏から「感染予防について」と題し講話をいただきました。ありがとうございました。

■8月22日(月) 14時 佐地共連中部ブロック会議を、蓮池のりんごの樹で実施しています。

8団体10名が参加されています。

西部ブロック (武雄市・鹿島市・嬉野市・白石町・太良町)

■西部ブロック(嬉野・鹿島・太良)地域共生ステーション連絡会研修

日時：平成28年9月21日 19時～21時

場所： 鹿島交流プラザ

内容：「仕事のルール」

※皆さんふるってご参加ください！！

■10月18日、西部地区地域共生交流イベント決定()

北部ブロック (唐津市・伊万里市・有田町)

■イベント情報 9/3 伊万里市民図書館ホール

第3回伊万里の地域包括ケアを考える～2025年に向けた伊万里のあるべき姿とは～

会員の (株)はなのわ デイサービスながやまの西野さん

(株)笑夢咲夢 デイサービスえん家の高木さん

が、ご登壇されます。お近くの方は参加してみられては？ **[別添チラシ]**

■10月20日北部ブロックイベント

「仕事に役立つポジティブメンタルヘルス 自分でできるストレスマネジメント」
※別添チラシをご覧ください。

※申込み先 NPO法人ひまわり 0955-64-2662

東部ブロック (神崎市・吉野ヶ里町・上峰町・鳥栖市・基山町)

■鳥栖地区を中心に、鳥栖地区地域共生交流イベント予定 ※未定

※各地区での、地域共生交流イベント開催につきましては事務局と調整をはかりながら、開催日時、内容等つくっていきましょう。

事務局

●10月25日(火) 13:30~15:30

佐賀県地域共生ステーション連絡会世話人会です。今回は、寄付や基金についての勉強会が主になります。万章繰り合せの上ご出席お願い致します。

今回は、さわやか福祉財団、佐賀未来創造基金から講師を招き、助け合い基金推進に係る勉強会になります。寄附文化は、全国的にみても佐賀は進んでいます。善意の寄付を福祉事業等に活かす視点は今後益々広がっていきます。福祉事業を志す皆様は、是非その仕組みづくりの重要性について考えていただければと思います。

●28年度会員更新状況

今年度より、会費を年5,000円/1法人、と改定しました。会費の納入がお済でないところはお早目をお願い致します。未納の団体様にはご案内致しますのでお願い致します。

●認定NPO法人市民福祉団体全国協議会のグループ会員になりました。

連絡会で市民協の会員になりましたので、連絡会から随時市民共のMMニュースも配信します。

●会員様の共生や地域づくりの取り組みをお寄せください。

●国土交通大臣認定 福祉有償運送(セダン含む)講習会開催!!

「移動サービス認定運転者講習」 移動サービスをはじめませんか!!

第38回移動サービス認定運転者講習会(福祉有償運送大臣認定講習)を9月3日、4日(土日)の両日、さが福祉移動サービスネットワークにて開催いたします。デイサービスの安全運転のスキルアップ、また、今後、総合事業がはじまり生活支援の中の移動支援に関心を寄せていただく

上でもでも受講をお勧めしています。「さが福祉移動サービス・ネットワーク（ふくしの家 0952-36-6865 又は、ふくしの家HPから申込み用紙をダウンロード）にお申込みください。

●事故にはくれぐれもご注意ください。

デイサービス事業所で、内部研修で安全運転講習を企画される場合は、ご連絡ください。

●書籍販売（総合事業への取組の参考テキストにどうぞ）

◆住民主体の生活支援サービスマニュアル3「居場所・サロンづくり」

公益財団法人さわやか福祉財団 編 1,200円

※10冊入荷していましたが完売しました。また入荷します。

◆住民主体の生活支援サービスマニュアル6「移動・外出支援」

特定非営利活動法人全国移動サービスネットワーク 編 1,200円

※入荷しました。

●佐賀県CSO支援自販機を設置しています

佐賀県地域共生ステーション連絡会では、佐賀県と協働し「佐賀県CSO支援自販機」を、コカコーラウエスト様及び西日本ビバレッジ様のご支援により下記に設置しております。

★コカコーラウエスト様自販機 アバンセ1F

★西日本ビバレッジ様自販機 九州シンクロトロン光研究センター2F交流センター

CSO支援飲料水等の購入による売上の一部を自販機設置事業者がCSOに寄付する自販機のこと、連絡会の活動資金に活用させていただいています。社会貢献活動や寄附文化意識の向上にも寄与するものです。施設をご利用の際はCSO自販機をご利用ください。

「コカコーラ・ウエスト様」「西日本ビバレッジ様」ご支援誠に有難うございます。

最近の考察

総合事業のはじまりと「移動」の問題

先日、福岡市第1回移動サービス学習会（福岡市社協主催）に招かれ、福岡市の移動支援モデル事業を行う上での課題や留意点等について、関係者と意見交換を行っています。介護保険のはじまりが民間事業者参入を促したのと同じように、今度は、介護保険改正による新しい総合事業が「地域（住民主体）参入」ともいえる方向性を打ち出し、その準備ともいえる動きが全国で広がっています。今回の移動サービスの学習会もそうした大きな流れの中の一つの取り組みですが、全国でその市町にあった独自の生活支援体制を創っていく方向へ歩みだしたことは確かなようです。

総合事業の中の、訪問Dタイプは「移動支援」ということになりますが、先進事例を除き全国への広がりはいずれです。人口減少の高齢社会にあって、福岡市のような取組が波及されていくことを期待したいと思います。

地域でアンケートを取ると、多くは外出が難しくなっているといった声が一様に聞かれます。私たちの生活は移動があってはじめて成り立つものですが、普通に暮らしているとその有り難さ

に気づく機会はありません。ただ今日、高齢化によって移動が制限されている人たちの声は大きくなりつつあります。これまで普通にできていた日常生活の移動に支障がでてくると、代替手段が限りなく少ないことに気づかされます。老後の蓄えや年金で暮らしている人に、特別な移動ではなく、生きていくための日常生活の足に、高い負担を強いられるのでは、それはノーマルな社会とはいえません。

道路運送法等、業を基準にした法律が、普段の日常生活の移動にまで影響を与え、外出を控えている人がいるとしたら、それは大きな社会的損失といえます。外出（社会参加）することによる健康維持への効果は、認知症や歩行障害になるリスクを軽減することはすでに証明されています。

総合事業が間もなく始まります。これ自体はそれぞれの地域にあったものをずっと作り続けていくもので「できあがり」は10年後ということかもしれません。その準備をする調査の中で、おそらくどこの地域も必ずと言っていいほど「移動」に関する声は上がってきます。これからの地域づくりに、避けては通れないものとして、この課題に是非多くの方も向き合っていただけることを願います。（事務局）

.....
.....

～地域福祉推進拠点のネットワーク～

佐賀県地域共生ステーション連絡会

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3番20号（鍋島シエストハーモニビル3F）

認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家事務局内

TEL：0952-36-6865 FAX：0952-36-6895

メール：fukushinoie@world.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.fukushinoie.jp>

※メールアドレスが不明なところにはファックスにて送信しております。

※ファックス受信の事業所様は、お手数ですが、上記メールアドレスにご返信ください。

※このMMニュースは、関係行政機関にも配信しています。